

子ども議会だより しき

～夢と未来を語れる ふれあいあふれるまち志木～

問合せ／学校教育課 内線 3123



16人の市・中学生が
子ども議員に挑戦!

1月17日(土)に市議会議場で、志木市子ども議会が開催されました。今年は、小学生(8人)と中学生(8人)が子ども議員に任命され、市長や市議会議長、副市長、教育委員、市の部長などの出席のもと、本物の市議会本会議さながらに、子どもたちが自ら感じた郷土志木の将来に関する提言や提案、市政運営についての質問を行いました。



今回の子ども議会は…

志木市教育委員会では、子どもたちの声を定期的に市政へ届けることを目的として、子ども議会を平成16年度から隔年で開催しています。

今回の子ども議会は、同じ中学校区に属する4人の小中学生がチームを組み、市政などに関して事前に行った勉強会の中で自分たちが住む地域の身近な問題について、意見交換を重ね、それぞれが練り上げた疑問点や提案を質問として大人たちに向けて投げかけました。

また、小学生と中学生が交流を重ねることで、お互いの連携が強まるだけでなく、小学校6年生と中学2年生が参加し、4月にはそれぞれが、新入生とそれをあたたかく迎える3年生という関係になるなど、小中連携の一環にもつながる内容となりました。



子ども議員を代表して志木第二中学校の北井僚太（北井 僚太）さんが市長から委嘱状を受けました



志木第二中学校 2年
北井 僚太 議長



宗岡第二中学校 2年
渋谷 伊央里 副議長





今回の子ども議会について、3月19日(木)から志木市ホームページで「インターネット録画中継」を行います。詳しくは<http://smart.discussvision.net/smart/shiki/>をご覧ください。

志木市のよいところを知ってもらうために



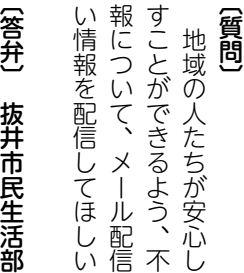
志木第三小学校 6年
原の野々香 議員

〔質問〕
よりたくさんの人に志木市のよいところを知ってもらうために、市では今後、どのような取り組みをしていくつもりですか。

〔答弁〕 香川市長

志木市は、全国でも6番目に小さな面積の市でありながら、自然や田園風景も多く残り、新河岸川と柳瀬川沿いの見事な桜や、チョウショウインハタザワラをはじめ、夏の勇壮なおみこしなど、活気にあふれているところが志木市のよいところです。市では、こうした志木市の魅力を発信するため、かつぱをモチーフにしたキャラクター、カパールやカッピー、さくらちゃんをはじめ、新たな観光PRキャラクター4式ロボというは水輝ちゃんを通じて、PR活動を行っています。また、志木駅改札口に設置した「まねぎがっほ」など、あらゆる機会を通じてたくさんの人に志木市のよいところをPRしているところです。

安心して暮らすために詳しい情報を



志木中学校 2年
矢内 夢乃 議員

〔質問〕
地域の人たちが安心して暮らすことができるよう、不審者情報について、メール配信で詳しい情報を配信してほしいです。

〔答弁〕 抜井市民生活部長

市では、災害や火災情報のほか、市のイベントなどをお知らせするモバイルサイトによる情報と、学校単位で学校行事の開催や警察から提供される不審者情報などを保護者にお知らせするメールを配信しています。このほかにも埼玉県警察が配信している「犯罪情報官NEWS」があり、不審者情報のほか、子どもに対する声かけやひったくり、振り込め詐欺など、県内で発生した事件などの情報をお知らせしています。このような情報は、犯罪捜査に関する内容が含まれていることから、詳しい情報が配信されない場合が多く、市としても、素早く正確な情報を配信していただけるよう、警察にお願いをしているところです。

私たちがもっと安全に通行するために



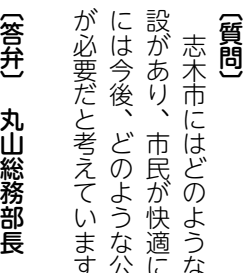
志木小学校 6年
青木 円香 議員

〔質問〕
ガードレールとカーブミラー、自転車通行帯があれば、私たちがもっと安全に通行できると思います。この3つを増やす予定はありますか。

〔答弁〕 谷澤都市整備部長

志木小学校付近の道路はガードレールを設置できるだけの道路幅がないところが多く、道路を広げなければ、ガードレールを設置するのは難しい状況です。カーブミラーについては、カーブミラーが無いと危なくて怖いという場所を教えてください。できれば現地を確認して、カーブミラーの設置などの安全対策を検討します。自転車通行帯は、県道一部での歩道を広げる整備にあわせて、自転車通行帯が設置されていますが、市道の間ほとんどは生活道路と呼ばれる歩行者や自転車、車を分けるだけの幅のない道路のため、自転車通行帯を設けることは難しい状況です。

今後の志木市に必要な公共施設は



志木中学校 2年
山崎 ひかり 議員

〔質問〕
志木市にはどのような公共施設があり、市民が快適に暮らすには今後、どのような公共施設が必要だと考えていますか。

〔答弁〕 丸山総務部長

市には、市庁舎や市民会館をはじめ、さまざまな公共施設があり、すべてを合わせる75施設に上ります。市民の皆さんが生活するうえで必要となる公共施設はすでに整備されていますが、一方で、多くの公共施設が昭和40年代後半から50年代にかけて建てられていて、老朽化が進んでいます。50年後の志木市の将来像を描き、今ある施設すべてが、50年後も必要なかをしっかり考え、どの施設をどこに残し、あるいは統合し、さらに、必要な施設を新しく建てたうえで、不要の施設を廃止する計画が必要となります。市では現在、この計画を作っているところで平成27年度にできあがる予定です。

市民のみんなが交流を深めるには



志木第二小学校 6年
いがらし 隆 議員

〔質問〕
志木市民のみんなが交流を深めることが大切だと考えています。市では多くの市民が交流を深めるためにどのような取組をしていますか。

〔答弁〕 香川市長

現在、志木市には、37の町内会があり、地域でのお祭りや清掃活動などさまざまな地域活動を通じて、住む人が互いに助け合えるよう、交流を深めています。

また、子どもたちが、伝統芸能や文化を継承することを目的とした「文化体験道場」では、学校や学年が異なる参加者同士の交流だけでなく、指導者の先生との世代を超えた交流も行われています。さらに、多くの市民に、新たなまちづくりに参加していただくため、7つの地区に、住む人たちと市の職員とで、「地区まちづくり会議」をつくり、皆さんが毎日の生活の中で困っていること、また、その解決方法などを、交流を通して話し合っています。

身近にネイティブな英語を親しむために

〔質問〕
身近にネイティブな英語と親しむため、また、いろいろな文化を理解し合うため、交換留学生の取組を検討してほしいです。

〔答弁〕 尾崎教育長

市では中学生の「つばき」事業として、アメリカ合衆国オハイオ州のワシントン・コート・ハウス市と相互交流していました。現在は休止状態となっています。

現在、異文化交流事業としては、海外で日本語指導する外国人を志木市の家庭に1泊2日でホームステイを受け入れる「ワンナイトステイ」があります。さらに、本年度からは、小学生向けに「イングリッシュキャンプ」を設け、ALT(外国語指導助手)といっしょに、外国の歌やゲームを楽しみ、昼食を食べ、ワールドカーニバルや各国のブースで国際交流を楽しみました。次年度は、もっとたくさんの子どもたちに、異文化交流を楽しんでもらえるよう、拡充を考えています。



志木第四小学校 6年
まへだ まこと 議員

子どもたちが遊べる児童施設を



志木第二中学校 2年
いしかわ ひなき 議員

〔質問〕
志木第二小学校、志木第四小学校周辺には子どもたちが遊べる児童施設がありません。二ユータウン周辺にも児童館があつてほしいと思います。

〔答弁〕 吉岡健康福祉部長

市では、児童館の機能と体力増進に関する指導機能をあわせ持つ児童センターを宗岡地区に設置しています。児童センターから離れ、利用しにくい地域には、「移動児童センター事業」として、各地域に出向き、さまざまな遊びを提供しているところがあります。

また、志木第四小学校内にあるふれあい館「もくせい」では、交流児童センター事業を定期的に開催し、小学生はもちろん、中学生や高校生も参加し、高齢者など誰でもいっしょに楽しめる遊びを実施しています。

今後は、放課後子どもプランを進めるなど、児童・生徒が安心・安全に過ごすことのできる居場所の整備を進めてまいります。

体を動かす場所として空き地の利用

〔質問〕
児童生徒の体力が低下していると聞きます。ボールなどを使って体を動かす場所を作つて欲しいのですが、空き地などを利用することはできませんか。

〔答弁〕 谷澤都市整備部長

市では、空き地や広場といった球技に使えるような広い場所を持つていません。空き地を買ったり、借りたりするには、時間やお金もかかることから、難しいのが現状です。

市内には市が管理する公園が57箇所ありますが、公園は、子どもから高齢者まで多くの市民が、遊び場や憩いの場、交流の場として利用しているため、安全上、球技スペースを分ける必要がありません。しかし、本市の公園には、スペース分けができるほど広い公園がありません。安全に、のびのびと思切り球技を楽しむ場所としては、学校の校庭を利用していただきたいと思います。



宗岡中学校 2年
なかむら あいきち 議員

災害時の避難場所の支援体制は



宗岡中学校 2年
やまだ ともや 議員

〔質問〕
宗岡中学校には、災害時の毛布や食糧の備品がありません。指定の避難場所がいっぱいで、備品がない学校に避難した場合、食糧などはどうなりますか。

〔答弁〕 櫻井副市長

志木市では、いつ起きてもおかしくない、地震や台風などの自然災害に対応するため、災害時の活動や対策を定めた「志木市地域防災計画」を定めています。この計画では、大規模な災害が発生した場合に、被災者の把握や備えてある食糧の配布など、すばやく対応するために市内の8つの小学校を避難所とすることにしています。宗岡中学校などは、避難される人たちが、小学校に入りきれない場合などに、予備的に使用する避難所として指定しています。このことから、備蓄品は置いておりませんが、志木市では、万一の時には、他の市町村や大型店などから不足する物資を運んでもらえるよう、防災協定を結んでいます。

犬の飼い主の
マナー向上のために



宗岡第二小学校 6年
後屋敷 太一 議員

〔質問〕
せせらぎの小径を歩いていると犬のおしっこのおとが残っています。散歩のときにペットボトルに水を入れて持ち歩き、おしっこをしたところに水をかけるようにしたらいいと思います。

〔答弁〕 抜井市民生活部長

多くの飼い主がペットを家族の一員として大切に育てている一方で、一部の心ない飼い主による犬のフンの放置など、市でも困っていることから、啓発用の看板を配布し、飼い主のマナーの向上を呼び掛けたところ、犬のフンに対する苦情は、以前に比べ少なくなりました。犬のおしっこ対策は市が今後、市民に協力を呼びかけ、取り組んでいく課題であり、犬のフンの放置対策に加えて、ペットボトルに水を入れて持ち歩くことを、飼い主のマナーの一つとして、市のホームページや広報紙、チラシなどでお知らせしてまいります。

みんなが手に取って
くれる本を

〔質問〕
学校図書室の本は上下のシリーズや分厚い本が多く、手に取ってくれる人が減ってきていると思います。みんなが手にとってくれるような本を増やしてほしいのですが、教えてください。

〔答弁〕 尾崎教育長

小中学校の学校図書館では、先生が、「みんなの学習のためになる本」を、図書相談員さんといっしょに考え、置いていきます。学校図書館には、調べ学習のために役立つ本や資料など、さまざまな分野の本があります。本を読めば、多くの知識や想像力が身につきます。本を読まない児童や生徒が増えることは、知的興味や好奇心を持たない大人になってしまつていってしまうことからです。司書の先生や図書相談員の先生が集まる会議などで、児童・生徒の皆さんが手に取ってくれるような本をどのように選び、学校に置くか、工夫していただくようお願いしてまいります。



宗岡第四小学校 6年
馬場 なつみ 議員

街灯をもっと増やす
ことはできますか



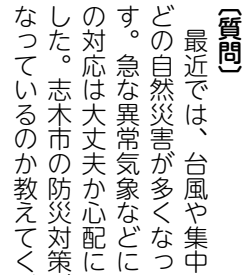
宗岡第二中学校 2年
佐野 成章 議員

〔質問〕
最近不審者情報が多くて心配です。私の住んでいる住宅街も街灯が少なくて怖いのです。やはり明るいとおとすとと思うので、街灯をもっと増やすことはできますか。

〔答弁〕 抜井市民生活部長

志木市内には、各町内会によりおよそ2千500か所の防犯灯がつけられています。防犯灯のなかには、つけられてから数年が過ぎ、古いものも多くなってきたため、平成26年度から3年計画で蛍光灯よりも明るく消費電力も少ないLED防犯灯へ交換を行っているところで、現在920か所の取り付けを終了しています。防犯灯はそれぞれの町内会が市で定めた一定の決まりによって取り付けられていますので、例えば暗いところや電球の切れているところがあれば、お父さん、お母さんを通じて、ぜひ町内会長に相談してみてください。

志木市の防災対策は
どうなっていますか



宗岡小学校 6年
金子 璃々花 議員

〔質問〕
最近では、台風や集中豪雨などの自然災害が多くなっています。急な異常気象などによる市の対応は大丈夫か心配になりました。志木市の防災対策がどうなっているのか教えてください。

〔答弁〕 神木上下水道部長

志木市では、水害が発生しそうなときは、災害対策本部をつくり、必要な職員を集めて配置し、万全を尽くすこととしています。実際に、家が水につかったり、流された場合には、市役所と消防、国や県などさまざまなところが全力で、災害にあつた人の救助・救出、避難誘導などを行います。また、日頃から災害訓練を行い、食糧や飲料水、ふとんや毛布などを蓄えたり、点検しています。市役所だけでなく、すべてのきるわけではないので、地域の消防団や町内会をはじめ、社会福祉協議会など、さまざまな皆さんに協力をいただきながら市民生活の安心・安全を目指しています。

花いっぱい運動の
すすめ



宗岡第三小学校 6年
中村 彩乃 議員

〔質問〕
市内にお花を植えて水をあげ続けられ、まちは明るくなり市民の心も明るくなると思います。このような活動を実施してみるのはどうですか。

〔答弁〕 香川市長

市では、さまざまな場所地域の方々の協力により、お花の管理をしていただいています。このようなことから、市では、これからも市民の皆さんの力、「市民力」をお借りしながらこうした活動を広め、住み良いまちづくりにつなげていきたいと考えています。もちろん、小中学校の皆さんに、道路や公園に花などを植えていただくことは大歓迎です。勝手に花などを植えるには、県に相談が必要となりますが、できないことはないと考えています。

掲載した質問と答弁は、要旨を抜粋しています。詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。